

第三百六十九回

愛媛県議会定例会質問

中田 晃太郎議員

おはようございます。

延伸伸の早期実現についでは、県には、住民の切なる願いを受け止め、最も重点項目として国に声を届け続けて頂いておりますので、今回は新型コロナを中心には、その他の課題を採り上げさせて頂きます。

一般質問も3日目となり、重複する質問もありますが、喫緊の課題でありますので質問させていたたきます。

まず始めに、新型コロナウイルス感染症による県内水産業への影響と対策についてお伺いいたしました。

本県は、マダイ、ブリ、シマアジ、カンパチなどの豊富な魚種を擁し、全国一位の産出額を誇る海

化 給 付 金 が 支 給 さ れ る の は あ り が	ら は ' 国 か ら 2 0 0 万 円 の 持 続	マ ダ イ や ブ リ な ど の 養 殖 業 者 か	は 大 き な 打 撃 を 受 け て お り ま す	が 極 端 に 少 な い 状 況 に 追 い 込 ま れ	マ ダ イ を 始 め と す る	ホ テ ル な ど の 飲 食 部 門 や 外 食 産 業	ホ テ ル な ど の 飲 食 部 門 や 外 食 産 業	業 の ひ と つ と な つ て い ま す。	億 4 ,	愛 媛 県 全 体 の 漁 業 總 產 出 額 は 3 3 5	
						5 月 時 期 と 重 な つ た こ と で 、 出 荷	し て 一 番 の 需 要 期 で も あ る 4 月 ・	で の 消 費 が 停 滯 し 、 更 に 年 間 を 通	て 以 降 、 外 出 自 粛 が 続 き 、 旅 館 や	を 受 け 、 緊 急 事 態 宣 言 が 発 出 さ れ	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 拡 大

「 と嘆きの声を多くお聞きしてお
り、一刻も早く対策を講じる必要
があると考えております。
このようなかで、県では4月補正
予算で、在庫が滞留している県産
水産物の消費拡大のため、4億2
千74万円を計上して、マダイや
ブランド魚である媛スマなどを学
校給食用に加工、提供する取組み
を支援し、県内における消費を増
やしていく事業を実施して頂いて
おります。
私は地元の愛南漁協は県一漁協
に急事態の際に取り残されてしま
うのではなかると危惧しておりまし
たが、県としても県漁協と密に連

ダイ、媛スマ、サツキマスなどのも
個人向けネット販売を開始し、売
行きも好調と聞いております。
今回、県において早速に取り組
んで頂いた県内水産物の学校給食
への食材提供については、給食を
食べる子どもたちに、栄養バランス
に優れ健康にも良い魚を食べる
ことの大切さや、本県の海面養殖
業は日本一であるといふ本県の誇
れる産業をしつかりと認識して頂
くことが重要であり、地元の食材
に触れ、愛着を持つてもらえる環
境を作ることが地産地消の機運を
高め、ひいては水産物の消費拡大
に繋がるのでないかと考えます。

新型コロナウイルス感染症の収束がいつになるのか、また収束し

たとしても外食産業や観光ムード

の急激な上昇は見込めず、厳しい

状況は当面続きそうな気配があり

ますが、新型コロナウイルス感染

症による本県水産業の危機を乗り

越えるためには、地産地消の視点

も踏まえながら対応する必要があ

ると思います。県は更なる消費の

拡大に向け、どのように行取り組ま

れるのかお聞かせください。

次に、避難所における新型コロ

ナウイルス感染症対策についてお

伺いいたします。

西日本豪雨災害から間もなく2

年となります。

この間、豪雨災害

運営の現場が混乱しないよう	から	課題と位置付け、各種施策に積極
れる場所ではなく、県民や避難所	の創	的に取り組んで頂いておりま
も、避難所は住民を選んで受け入	造的復興を	すこ
ても、薬剤耐性菌が増加してい	け、各	とを心強く思いますとともに、被
口ナウイルス感染症が拡大してい	種	られるよう共に取り組んで参る所
つてくるかかりません。	施	存でです。
水期を迎えた。災害はいつや	策に	災地の復興がしつかりと成し遂げ
組みを進めている中で、今年も出	積	とを心強く思いますとともに、被
を始め、関係者が一丸となつて取	極	られるよう共に取り組んで参る所
症の拡大防止に向け、県民の皆様	に	存でです。
さて、新型コロナウイルス感染	に	災地の復興がしつかりと成し遂げ
れています。	に	とを心強く思いますとともに、被
運営の現場が混乱しないよう	に	られるよう共に取り組んで参る所
れる場所ではなく、県民や避難所	の	存でです。
も、避難所は住民を選んで受け入	の	災地の復興がしつかりと成し遂げ
ても、薬剤耐性菌が増加してい	の	とを心強く思いますとともに、被
口ナウイルス感染症が拡大してい	の	られるよう共に取り組んで参る所
つてくるかかりません。	の	存でです。
水期を迎えた。災害はいつや	の	災地の復興がしつかりと成し遂げ
組みを進めている中で、今年も出	の	とを心強く思いますとともに、被
を始め、関係者が一丸となつて取	の	られるよう共に取り組んで参る所
症の拡大防止に向け、県民の皆様	の	存でです。
さて、新型コロナウイルス感染	の	災地の復興がしつかりと成し遂げ
れています。	の	とを心強く思いますとともに、被
運営の現場が混乱しないよう	の	られるよう共に取り組んで参る所

ク拉斯ターを発生させない避難所対策など安心安全の確保に早急に取り組む必要があります。県では、避難所運営の主體である各市町と課題を共有の上、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための避難所運営の留意点」として、これまでに実施された「ガイドライン」を参考し、今月には新規に「濃厚接触者などに関する取り扱いも加えた「ガイドライン」」を策定され、市町に對し、出水期に向けて具体的な検討や対策に取り組んで頂いております。

これまでに実施された「ガイドライン」によれば、これららの「留意点」や「ガイドライン」によりますと、これまでで頂いておりました「ガイドライン」に对するなど、早急に対策に取り組んで頂いた具體的な検討や対応を働きかけた結果、市町に對し、出水期に向けて具体的な検討や対策に取り組んで頂いておりました。

常識とされてきた避難所の運営と比べ、避難難者にとつても準備運営

に当たる市町にとつても~~一~~対応の認識を変えなくてはならぬ点が数多くあります。

前に親戚や友人宅へ避難者にとつては、事例えれば、避難者にとつては、事前にあります。

場合によつてはホテルなどへ事前避難を行つたり、車で高台へ避難したり、

したリするマルチ避難と呼ばれる

分散避難を考えておくこと。また

これまでの避難所における備蓄に

加え各自でマスクやアルコール消

毒液、体温計などの衛生用品を持

参し、避難中は継続して体調管理

を行ふことなど、今挙げた例に留

まらず、新たな対策が盛り込まれ

ております。

皆さんに認識して頂き、実行に避難所での混乱を防ぐため~~一~~実行に

県 も 平 成 2 9 年 に 西 日 本 段 ボ ー	く わ る 知 さ れ て い る と こ ろ で す 。	認 冷 え 対 策 に も 有 効 で あ る と 広 伝	隣 ライ バ シ ー の 確 保 や 直 接 床 か ら	飛 沫 抑 止 に も な り 、 更 に 普	パ ー テ ー シ ヨ ン を 設 置 す る こ と で	ら の ウ イ ル ス 飛 沫 抑 止 に も な り 、 更 に 普	対 策 に は 、 段 ボ ー ル ベ ッ ド は 床 か	が 、 体 育 館 な ど の 避 難 所 で の 飛 沫	の 作 成 体 驗 を 視 察 し た と こ ろ で す	難 所 内 で 使 用 す る 段 ボ ー ル ベ ッ ド	訓 練 に お い て 、 児 童 が 参 加 す る 避	で ま た 、 昨 年 地 元 で 行 わ れ た 防 災	に 合 わ せ た も の に 改 善 を 行 つ た 上	移 し て も ら わ な く て は な ら な い 事
--	---	---	---	--	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---

ル工業組合と災害時応援協定を結び、災害が発生した際は速やかに物資供給ができるよう体制を整えています。頂いておりますが、南海トラフ地震など、広範囲に及ぶ大規模災害が発生した際には、長期にわたる物流の寸断が懸念されます。そのためにも各市町の避難所ごとに新型コロナウイルス感染症対策と蓄を進めるとともに、その数を把握して新たに必要となつた物資の備蓄を進めるとともに、その際に混亂が生じないようになります。そこでお伺いいたします。

てくると考えます。そこでお伺いいたします。県として避難所における感染症対策にご尽力頂いていふところではマニュアル

策定など独自の取組みも進んでい
ると聞きますが、県は避難所にお
ける感染症対策や住民への周知に
市町と連携してどう取り組むのか
お聞かせください。
します。
替大会の開催についてお伺いいた
次に、高校総体の中止に伴う代
響で、全国高校野球選手権大会など
新新型コロナウイルス感染症の影
規模の大大会や、これらに向けた各
国高校野球選手権大会などを全国
地大會が中止になり、これらに向けた各
様はもとより、保護者や指導者な
どの関係者からも無念の声が多く
かされました。
子どもから大人まで、スポーツ

型	う	少	の	現	年	に	影	に
コ	で	な	恩	在	生	、	響	取
ロ	す	く	師	も	で	、	が	り
ナ	。	、	か	顧	あ	、	が	組
ウ	と	大	お	問	り	、	懸	む
イ	ころ	会	聞	と	り	ま	念	ら
ル	が	に	き	し	ま	す	さ	ゆ
感	そ	、	か	して	す	が	れ	る
染	の	の	し	い	す	、	る	世
症	矢	大	た	る	が	、	が	代
に	先	会	た	私	と	中	、	に
よ	に	、	の	の	く	で	、	多
り	、	、	高	我	く	も	が	大
総	新	意	校	聞	と	、	れ	な

体が中止になりました、3年生は新しいユニフォームを着て試合をするのです。私も2年前に練習を手伝わせて頂いたことがあり、当時1年生だった今は、余計に辛い気持ちになりました。いよいよ全国の高校3年生の中には、スポーツ推薦などによる進学や就職に大きな影響を受け、困っている生徒もいるでしょう。小中学校時代から積み上げてきた努力の総決算と位置付けて活躍を心に期してきました。仲間たちと共に、必死に汗を流してきた結果として、突然の引退となつてしまつたそうなりました。

に 関 し て は 、 一 生 に い ち
 い カ も し れ な い 愛 媛 県 独 自 の 冠 名
 を 付 け た 大 会 に す る の も 、 他 県 に
 は 無 い ひ と つ の ア イ デ ア で は な い
 か と 考 え ま す し 、 い ず れ に し ま し
 て も 、 様 々 な 発 想 で 、 生 徒 の 心 に
 残 る 大 会 作 り に 取 り 組 ん で 頂 き た
 い と 切 に 願 う の で あ り ま す 。
 こ う し た 中 、 関 係 部 局 な ど に 、
 こ の 状 況 下 で 開 催 す べ き で は な い
 と の 意 見 も 数 件 寄 せ ら れ て い る と
 は 聞 い て お り ま す が 、 個 人 的 な 意
 見 を 述 べ さ せ て 頂 く と 、 い ちばん
 大 切 な の は 、 子 ど も た ち の 気 持
 に 寄 り 添 い な が ら 、 何 が で き る か 考
 え 抜 く こ と で あ り 、 全 て を 中 止 に
 回 避 な ど の 感 染 防 止 対 策 を 徹 底 し
 し て 希 望 を 奪 う の で は な く 、 3 密

た上での開催が前提ではあります。子どもたちに選択肢を用意してあげることが重要であると考えます。

そこでお伺いいたします。

県から各競技団体に代替大会の開催を前向きに検討頂くようメツ

怪我の心配や学業への影響を懸念するのであります。練習不足によるとこ

ろであります。それぞれの競技団体におかれましても、それぞれの競技

怪我の心配や学業への影響を懸念する声も聞かれ、それぞれの競技

団体におかげましては、可能な限り早めに代替大会の開催の可否な

どの方向性を示して頂く必要があると思います。各競技団体にかけ

る代替大会の検討状況はどうか。

また、県として大会の開催をどの程度の方向性を示す。各競技団

よに支援していくのかお聞かせ

投稿され、その事実無根の投稿内	いたで、心無い誹謗中傷が多く	ついて、インターネットの一 部サ	コロナウイルスに感染さ れた方に	身近なところでは、県内で新 型	状であります。	制などが追い付いていな いのが現	大や機能の高度化などに対 し、規	便利である反面、急速な普及の拡 が	ツトワークサーサイバースト リュン	るようになつているソーシャルネ	現在、誰しもが気軽に使 用でき	見まします。	ト上でSNSなどインターネッ ト上の誹謗中傷やそれには 偏見、人権侵害についてお伺 いいた	ください。
-----------------	----------------	---------------------	---------------------	--------------------	---------	---------------------	---------------------	----------------------	----------------------	-----------------	--------------------	--------	--	-------

ツト上で誹謗中傷などを行つた発信者本人の情報の特定を行つた。討する動きが進んでおります。表現行為への制限は、憲法二十一条で定められていく「表現の自由」の侵害となりうるためには要件が設けられており、私もこのように厳格な要件が設定されていますが、「表現の自由」と考へて個人を傷つけることは決して個人を尊重されることは許されるといふものであつてはなりません。そこでお伺いいたしまる。「」と考へて個人を傷つけることになりません。

おいては、SNSなどインターネット上での誹謗中傷による人権侵害をどう認識し、その解消に向けた道のようになります。聞かせてください。

公営企業管理者からの答弁でも、前回の私の一般質問について実に取り組んでいます。それは地域住民とつて切実な問題であります。一般的質問でも述べさせて頂いた通り、愛南地域における医療の充実、愛南町での長年にわたる継続的な課題となつていて、私は昨年の9月定例議会での私の充実についてお伺いいたしました。

愛媛県議会原稿用紙 (15×18)

域住民の生命と健康を継続的に守るとされ、いるほか、都市部に集中しがちな医師研修の充実や医師の負担軽減、そして医師の定着などを目的としており、将来的には県内における医師不足地域に必要な医療提供体制を確保することになり、先駆けて県立南宇和病院で取り組んで頂くことに、地元住民のひとりとして最も感謝してあります。

5Gの活用が当たり前となる社会を見据えて、例えば救急夜間診療の当直医が専門医以外の際には、県立中央病院などに当直でいらっしゃる専門医とテレビ電話などを用いて、現場の医師が診察を行うべきなぎ、現場の医師が診察を行う。

よう体制整備も進めしていく必要

あると考える次第であります。

都市部への医師偏在、また地方における深刻な医師不足が叫ばれ
る中、遠隔でも専門医に診察をし
て頂くことができるようになれば
より適切な受診や、患者さんはも
とよりご家族の心のケアにも繋が
ると考えます。

5Gの活用などデジタルシフト
に的確に対応しながら、今からで
きることに取り組むことにより、
めていくことが重要であると考え
ます。

医療の地域格差を少しずつでも埋
めることで、私はこの5G活用を見据え
た愛

地域医療体制の確保・充実に向け
南地域遠隔医療システムの整備は
そこでお伺いいたします。

多岐にわたる可能性を秘めていります。県は今後、このと考えています。

懸念されるなど、日本一の真珠の真珠生産への後年にわたる影響が、たたかれていた被害額は、約2割が、つい死した母貝と合わせた、本県においては、生き残った稚貝が、各地で発生した、アコヤガイの大半は、アコヤガイの大量へい死で、本県においては、生き残つた稚貝が、ご承知の通り、昨年の夏に全国各策についてお伺いします。

最後に、アコヤガイのへい死対策につけた地元医療の確保にどのよう取り組んでいくのか展望をお聞かせください。

据えた地域医療の確保にどのよう取り組んでいくのか展望をお聞かせください。

モodel事業を始め、5G活用を見据えた地域医療の確保にどのよう取り組んでいくのか展望をお聞かせください。

産地は大変大きなダメージを受けました。

昨年9月議会の一般質問でも採り上げさせて頂きましたが、このアコヤガイの大量への死を受けたのは、関係団体とともに「アコヤガイへの死対策協議会」を速やかに設置するとともに、大学の研究者などによる専門部会を立ち上げ、環境要因や感染症などをあらゆる可能性を想定した原因究明に取り組んで頂いております。また、水産研究センターでは、「高水温・低餌料に強い貝」の開発を急ぐとともに、緊急に稚貝の生産と配付に取り組まれたほか、今年度の当初予算においても、愛南町のアコガイ種苗生産施設の改修事業を

予算化されると、母貝の安定生産への支援にもご尽力頂いており、大変心強く思つております。

こうした中、県内のアコヤガイ生産施設では、令和2年の稚貝生産が開始され、先般、母貝養殖業者へ稚貝が配付されたと伺つております。しかし、へい死の原因に何らかの外的要因が関与していることは、3月に開催された専門部会でも、「貝の異常は海水中の示されたものとの新たな見解が可能性能が高い」との新たな見解が示されたもの、未だ明確にはなつておらず、漁業者は不安を抱えています。

また、先日、三重県のアコヤガイ養殖場の一部の地域で、稚貝が死んでおりまます。

んでいるのが確認されました。海
 水温の上昇や餌となるプランクトン量の落込みが見られ、これらが影響している可能性があるとのことですが、現在のところ確実な死因が特定されていらないことから、県内の養殖業者からも「昨年と同じように大量へい死が発生するのではなくか」と心配の声を多数お聞きしております。
 情報提供や被害の未然防止に努めて頂きたいたいと思います。

ガイ稚貝の生産を支える、愛媛県下灘支所の種苗生産施設は、愛南町とともに、県内のアコヤ漁協設備の老朽化が著しく、稚貝の生産に支障を来たしかねない状況にあります。漁業者

が安心して養殖を継続していくた
めには、一日も早いへい死原因の
究明とともに、優良な母貝を安定
して生産できる体制の更なる強化
が必要であると改めて考えており
ます。また、そこでお伺いいたしま
す。県では、官民一体となつてアコ
ヤガイのへい死対策に取り組んで
おられます。が、へい死原因の究明
と安定した生産体制の構築に向け
て、どのように取り組んでいくの
かお聞かせください。

以上で、私からの質問を終わら
せて頂きます。

ご清聴ありがとうございました。